

事業名	アオノリ養殖概況(増養殖技術研究)
予算区分	県単
事業実施期間	平成12年度～
担当者	(環境増養殖担当)加藤慎治
共同研究機関等	

<目的>

本県の基幹産業であるスジアオノリ養殖業の生産状況を把握する。

<方法>

漁業者から生産状況について聞き取り調査を行うとともに、徳島県漁業協同組合連合会における共販実績を整理した。

<結果>

例年どおり10月上旬から天然採苗が開始された。採苗期間中にまとまった降雨があったものの極端な淡水化には至らず、概ね順調に採苗が行われた。本養殖開始後、11月はほとんど藻体が生長せず生産に結びつかなかったが、12月に入ると比較的順調に生長しまとまった生産となった。しかしながら1月以降は漁場内でユーカンピアが大量発生し栄養塩が枯渇した結果、生長不良と製品の品質低下を招くこととなり2月には終漁となった。

令和2年度漁期の生産数量は15,661kgで過去最低だった前年と比較して195%と倍増したものの、色落ちと夾雑物の混入による品質低下から平均単価は19,513円/kgと前年比48.5%となった。

<今後の課題>

得られたデータから不作原因を推定し、養殖指導の材料とする必要がある。

<次年度の計画>

引き続き生産状況の把握に努める

<結果の発表・活用状況等>

特になし

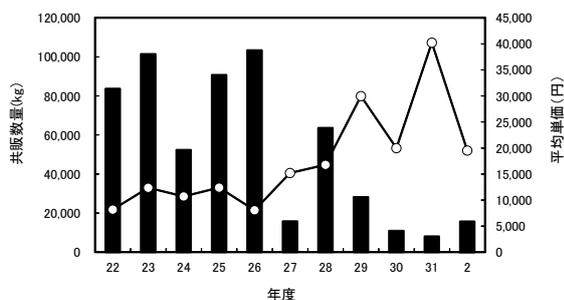


図1. 年度別共販数量と平均単価の推移

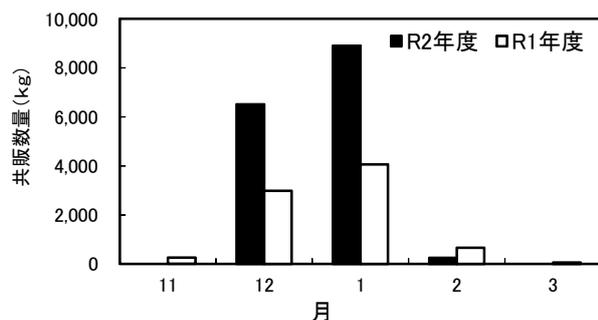


図2. 共販数量の経月変化